

簡易発明届出書

提出日

発明者氏名

印

私 / 私達は、下記発明について、日本及び外国において特許を受ける権利を、
株式会社に譲渡します。

1．発明の名称

かな漢字変換方法

2．発明の分野

かな漢字変換

3．発明の効果

その発明が、どのような効果を持つのかを書いて下さい。従来の技術と比べての効果を書いて下さい。

ユーザの使用状況に応じた順で漢字候補を表示でき、効率のよい変換を実現できる。

4．効果をもたらした工夫

上記の効果を得るために採用した工夫を書いて下さい。

漢字ごとに使用回数を記録しておき、使用回数の順に漢字候補を表示するようにした。

5．従来の手法

類似する従来の手法を説明して下さい。

今までのシステムは、漢字候補の表示順序が固定的であった。このため、そのユーザがよく使う漢字であっても、後ろの方の候補として表示されることがあった。

6．発明の実施形態

概要を説明して下さい。

図に示すように、かな漢字辞書において、各漢字ごとに使用頻度を記録する。インデックス記憶部には、その使用頻度順に、各漢字のアドレスを記憶する。漢字候補の表示を行うときには、インデックス記憶部の記憶順（つまり使用頻度順）に候補を表示するようにする。したがって、よく使う漢字ほど先に候補として表示され、ユーザが使いやすい。

7．変形例

発明の変形例があれば記入して下さい。

インデックスを使わず漢字を並び替えてもよい。

漢字候補を一つずつ表示するのではなく、複数個まとめて表示してもよい。この場合、使用頻度の高い漢字ほど上に表示されるようにする。

以上

インデックス部

ad 1
ad 3
ad 2
ad 4
ad 5
⋮
⋮
⋮

ad 1
ad 2
ad 3
ad 4
ad 5

しょうか	
消化	21
唱歌	5
商家	12
小過	0
昇華	0
⋮	⋮
⋮	⋮
⋮	⋮